

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	代表者	大國 康夫	法人・ 事業所 の特徴	お年寄りから子どもまで、みんなが安心して暮らせる地域や町であってほしい。それが私たちの願いです。という目標を持ち、グループホーム・小規模多機能・地域サロン・子ども食堂等を運営しています。
事業所名	あすなろホーム柳本	管理者	田尻直子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	6人	1人	2人	1人	人	6人	人	17人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所全体で働きやすい職場の雰囲気・環境を整える。 利用者、やりたいことを実現していく。 楽しみのある生活を組み立てる	職員の異動等はあったが、退職者も少なかった。 季節のお出かけや、誕生日の方を中心としたお出かけ企画等を行った。	良い意見が多かった。 事業所の行なう自己評価について、評価して頂けた。	職員間でコミュニケーションをしっかりととり、働きやすい環境を整える 利用者との会話の中で、やりたいことを汲み取り、楽しみのある生活を支援していく
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方が、いつ入っても気を使わない雰囲気や環境を整えていく。 引き続き感染症対策には気を付けて、安心して面会できる環境を整える。	買い物バス・ランチ等で地域の方に参加をしていただけている。 面会は感染症に注意をしながら、居室で行っている。	良い意見が多かった。 ホームでの学習会や運営推進会議等で、環境をみてもらうことができたためと思われる。	地域の方が立ち寄りやすい雰囲気づくりを行う 利用者・地域の方が集える場所となるよう、環境を整える
C. 事業所と地域のかかわり	地域学習会は2回（春・秋）には継続して実施する。 コロナ禍で少し希薄になった、地域とのつながりを再構築する。	地域学習会を春・秋に実施出来た。柳本独自の学習会も2回実施出来た。 ランチ・買物バスでも、参加者が増え、相談ができる関係性の構築に努めた。 ホーム創立10周年のお祝いに、地域の方にも参加をしていただけた。	良い意見が多かった。 地域学習会やランチ・買物バスを行っており、良い意見が多かったと思われる。 地域の相談場所となっているかわからないとの意見もあった	地域学習会や公民館での学習会を継続して実施する ランチ・買物バス等を通して、より多くの地域の方と繋がりをもち、相談できる関係性となれるように取り組む
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域の行事に利用者と一緒に積極的に参加する。 地域に行事等の情報収集も引き続き行なう。	黒塚古墳への花見や伊謝奈岐神宮への初詣、柳本駅前行事や柳灯会等、地域へ出ることが出来た。 駅に設置されているピアノ演奏にも地域の方に声をかけていただき参加を行った。	良い意見が多かった。 おでかけの様子等、インスタグラムを通じて見ていただくことができたためと思われる。	地域の行事の情報収集を行い、利用者と一緒に積極的に参加する 利用者の生活歴を見て、なじみの場所へのおでかけを行う
E. 運営推進会議を活かした取り組み	多くの方に対面での運営推進会議に参加して頂けるようにアプローチを続ける。 運営推進会議を通して、地域の取組等の情報を取り入れる	運営推進会議をホームで実施できている。 会議の中で地域の情報をいただくことができた。	良い意見が多かった。 ホームで運営推進会議を行うことで、意見交換の場になったためと思われる。	運営推進会議は引き続きホームで行っていく。運営推進会議を通して、地域の取組等の情報を取り入れる
F. 事業所の防災・災害対策	多くの地域の方にも参加して頂けるように働きかけをしていく。 地域の防災会議にも積極的に参加していく。	地域の方と一緒に火災避難訓練を行なうことが出来た。 柳本・渋谷町の防災フェスタに参加を行った。	良い意見が多かった。 災害時に、地域との連携についての意見をいただいた。	多くの地域の方に参加をしていただけるように働きかけをしていく 災害時に備え、訓練の継続・備蓄の管理を整える

